

# 郷土の歴史と文化 学びませんか

【問】市生涯学習課文化係 (☎ 77・8832)

やながわ歴史文化講座では、郷土の歴史と市とゆかりの深い偉人の足跡、地域の伝統文化などを分かりやすく紹介します。興味がある人なら、どなたでも参加できます。奮ってご参加ください。

■受講料 第1～5回講座＝1講座200円、第6回講座＝1000円

■開講時間 第1～5回講座＝午後2時～4時、第6回講座＝午前9時～午後4時30分

■受講申込 第1～5回講座＝不要、第6回講座＝事前申込が必要です。来年1月7日(月)から受付開始。先着40人になり次第締め切ります。



昨年度の講座の様子。毎回たくさんの方が受講しています

## ●平成24年度 やながわ歴史文化講座の日程と内容

開講日	演題・講師	会場
第1回講座 6月2日(土)	柳川藩主立花家伝来の刀剣 坪内 広子(立花家史料館学芸員)	三橋公民館 講義室
第2回講座 7月7日(土)	炭坑の記憶 ～山本作兵衛炭坑記録画保存の取り組み～ 福本 寛(田川市石炭・歴史博物館学芸員)	三橋公民館 講義室
第3回講座 9月8日(土)	～柳川市総合美術展25周年～ 近代柳川の美術と風土 植野 健造(福岡大学人文学部教授)	三橋公民館 講義室
第4回講座 11月11日(日)	～北原白秋没後70年～ 白秋と東京の芸術サロン 横尾 文子(佐賀女子短期大学教授)	三橋公民館 講義室
第5回講座 1月12日(土)	筑後の国衆たち ～豊肥のはざままで～ 大城 美知信(福岡県地方史研究連絡協議会長)	三橋公民館 講義室
第6回講座 3月9日(土)	街道をゆく ～矢部往還・後半～ 半田 隆夫(福岡女学院大学講師)	三橋公民館 集合 (バス見学あり)

# 新しい行政区長に委嘱状を交付

【問】市総務課市民協働推進係 (☎ 77・8419)

今年度、新しく就任した行政区長への委嘱状交付式が4月9日、市民会館で行われました。4月20日現在で行政区長の交代があったのは、市内321行政区のうち58行政区です。式では金子市長が、出席した新任の行政区長一人一人に委嘱状を手渡しました。

行政区長は、地域から寄せられる水路や道路の改修などの要望を取りまとめて市に伝えたり、広報紙をはじめ市からのお知らせを地域の人たちに伝えたりするなど、地域と市を結ぶ大切な役目を担います。市民の皆さんのご協力をお願いします。

なお、新任の行政区長は次のとおりです。(敬称略)

【柳河】▷出来町＝龍俊子▷南長柄町＝竹之内利治▷中町(柳河)＝平野善勝▷片原町＝高田武美▷北筑紫第二＝松石眞一

【城内】▷柳町＝江上治孝▷本町中＝王寺幸晴

【沖端】▷西浦町＝橋本國男

【西宮永】▷柴原＝梶島政敏▷吉富町第一＝山下隆徳▷内開第二＝吉開政彦▷新開＝龍栄治

【東宮永】▷四丁開東＝藤吉純三▷四丁開北＝高口澄彦▷番所南＝甲斐田親志▷番所中＝平川廣一▷三条東＝吉川健一▷道穴東＝山崎トミヨ▷道穴西＝高石滋文▷道穴南＝鴨川隆二▷東宮永中開＝山田孝太郎▷西小路＝山田正路

【両開】▷下八丁中＝江口建治▷東ノ切西＝福永章信▷中ノ切東＝福山隆信

【昭代】▷宮下＝木原八廣▷久々原＝武田輝彦▷昭南町＝太田保▷吉原西＝荒巻義勝

【蒲池】▷蒲生＝廣松治男▷荻島＝與田正秀▷根葉＝金

縄武敏▷中古賀＝金繩春男

【豊原】▷西徳益＝鈴山充▷南四十丁＝大坪豊

【大和】▷大和作出＝井上武

【中島】▷西在內山＝荒牧小一郎▷東上町＝竹下新二郎▷新北二重＝堤戦勝▷旧北二重＝成清覺▷西二重＝黒田忠記

【六合】▷西津留＝松藤健次▷鷹園団地＝武末一彦

【二ツ河】▷吉開1＝小野一豊▷吉開2＝下河角雄▷木元＝目野典良▷下久末西＝中野芳樹▷百町1＝目野學

【矢ヶ部】▷南矢ヶ部中＝竹田卓己

【垂見】▷六田＝白石勝治▷垂見南＝大橋春登▷中通り＝高橋猛▷垂見下＝高橋道夫▷平木＝中島啓治▷白鳥＝古賀英治▷島田＝嶋田孝信

【藤吉】▷蒲船津2＝梶島田實生▷高畑2＝久良木茂美



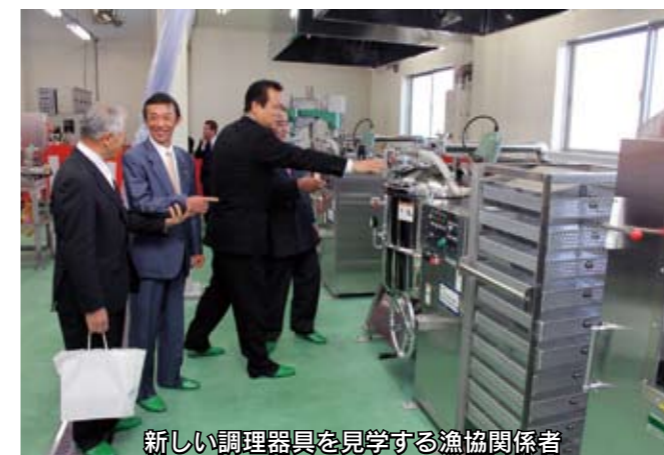
新任の行政区長には金子市長が委嘱状を手渡した

## 漁連と海苔共販連が合併調印

県有明海漁業協同組合連合会(西田晴征会長)と県有明海海苔共販漁業協同組合連合会(黒田忠記会長)が6月1日に合併することになりました。4月11日には新しく誕生する県有明海漁業協同組合連合会の事務所が置かれる県有明水産会館で合併契約調印式が行われ、金子市長ら関係市長の立ち会いのもと、両会長が契約書に調印。固い握手を交わしました。両漁連が合併したことで、ノリの生産管理と販売促進の一体化や組織の効率化が図られ、漁業者への支援体制の充実が期待されます。



調印する西田会長(前列右から2人目)と黒田会長(同3人目)



新しい調理器具を見学する漁協関係者

## 両開漁協に新ノリ加工施設完成

両開漁業協同組合(園田照彦組合長)は新しいノリのつくだ煮の加工施設を整備し4月7日、落成式を大浜町の同施設で行いました。新しい施設は延べ床面積261.72㎡、鉄筋平屋建て。真空で調理する釜や蒸気殺菌庫などを導入。事業費は約4270万円で県と市の補助を受けて整備されました。新しい調理器具の導入により、味と食感、衛生面が向上するほか、生産能力も2倍になるそうです。式であいさつをした園田組合長は「施設の完成で付加価値の高い製品ができる」と施設の完成を喜びました。